

<飛び出す思い出カード>

- 1 時間
60分
- 2 場所
研修室
- 3 人数・班編成
100人程度まで・1班2人で編成（最大50班）
- 4 費用
1人50円（持ち帰る場合も同じ金額）
- 5 準備物

青年の家が準備 ()は数量		個人又は団体が準備	
個人	台紙	(1)	個人
	色紙	(1)	筆記用具
	イラスト用紙	(1)	
	はさみ	(1)	
班	カッターナイフ	(1)	
	カッティングシート	(1)	
	のり	(1)	
団体	クーピー	(1)	
	クラフト見本	(1)	
	指導用資料	(1)	

- 6 その他
 - (1) 研修中に出たごみは、まとめてごみ置場に処理します。
 - (2) 研修後、用具はクラフトコーナーに返却します。
 - (3) 持ち帰って制作することもできます。その場合は、台紙、色紙、イラスト用のみの販売となります（要；青年の家職員に相談してください。）。

【作品例】



7 研修の流れ

内 容	時間 (分)	研修生の動き	引率者の動き・留意点
準備 ・ 説明	10	<ul style="list-style-type: none"> ○使用する用具を取りに行く。 ○作り方の説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人又は班（二人組）で必要な用具を準備しておく。 ○見本を見せ、活動意欲を喚起させる。 ○それぞれの作業（切る・折る・色を塗る）について資料に従って説明する。
活動	35	<ul style="list-style-type: none"> ○色紙に、学校名と名前を書く。 ○カッティングシートの上で、台紙に切れ目を入れる。 ○一点鎖線を山折りにし、点線を谷折りにする。 ○色紙に台紙をのり付けする。 ○イラスト用紙の中から3つを選び、色を塗る。 ○色塗りをしたイラストをはさみで切り取る。 ○切り取ったイラストを★印にのり付けする。 ○余白部分に、絵を描いたり色を塗ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学校名・名前」を記入することを指示し、色紙を配る。 ○カッターナイフの安全な使い方を指導する。 ・手首を机面に当てて、鉛筆で線を引くように切ること。 ・刃の進む方向に手を置かないこと。 ○二人組で作業順を決めさせた後、実線部分を切ることを指示して、台紙を配る。（ずっと待つことを避けるため、一箇所切れたら交代させても良い。） ○-・- 山折りと 谷折りを間違えないようにすることを伝え、机間巡視により確認する。 ○色紙を半折した後、その折り目と台紙中央の点線が合うようにのり付けさせる。その際、カッターナイフで切った部分にはのりを付けないように指示する。（全部のり付けすると飛び出さなくなるので注意が必要。） ○イラスト用紙を配付し、イラスト3つの中に自分で描いたものを入れてよいこと、また、色塗りをしたイラストをはさみで切り取ることを伝える。 ○のり付けする際、台紙からはみ出さないように貼る位置に気を付けさせる。 ○作業の進行状況により、早くできたら余白部分に絵を描いたり色を塗ったりしてもよいことを指示する。
片付け	10	<ul style="list-style-type: none"> ○作品ができ上がったら、用具とごみを片付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作品が完成したら片付けをするよう指示する。
まとめ	5	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○完成した作品を紹介したり研修生に感想を発表させたりして、頑張りを称揚する。

◎台紙の長方形の枠に思い出を書いたり、表紙に絵を描いたりすることができますが、研修時間内にその作業時間を確保することができない場合があります。その場合は、反省会や学校での振り返りの時間等を活用して完成させます。